



●ツバキ…花言葉は、控え目、慎み深い、完璧な魅力、誇り

木に春と書いて「椿」、当たり前に使われていますが、これは日本で作られた字で、中国では梅檀科の木である「ちゃんちん」という木のことを指します。

日本で「椿」は漢名を「山茶花」と記されて、古代より人々は、冬も緑色の「椿」の葉に靈を感じていたようです。

あしひきの 八峰の都婆吉 つらつらに  
見とも飽かめや 植えてける君

大伴家持 「万葉集」

# 射水更生保護

発行・編集

射水保護司会  
会長 米澤治夫  
TEL 0766-52-4321

〒934-8555  
射水市本町2丁目10番30号  
射水市福祉保健部 社会福祉課内

このコンテストは、今回で五十九回  
目となる「社会を明るくする運動」事  
業の一環として射水市実施委員会及び  
射水保護司会が実施しました。射水市  
内小学校十四校、中学校五校より、応  
募総数一、八五三名の出品があり、昨  
二十一年八月三日及び五日、審査委員  
十名（保護司）の厳正な審査が行われ、  
優秀賞として、

○作文の部……………十名  
○ボスターの部……………七名  
○標語の部……………七名  
入賞を決定しました。（次ページに名簿）  
表彰式は、実施委員長・射水市長の  
開会のあいさつの後、表彰に入り、入  
賞者一人一人に賞状と記念品が手渡さ  
れた後、部門別に記念撮影をした。  
また、体験発表（特別出演）。第二十  
八回県中学生生活体験発表大会・富山  
県知事賞受賞（射水市代表）射水市立新  
湊西部中学校三年・鈴谷匠平さんが、  
『自分がやらなきゃ誰がやる』と題して  
堂々と発表し、さらに今回の第五十九  
回「社会を明るくする運動」作文コンテ  
スト射水市推薦作品に選ばれた次の児  
童、生徒が作文を朗読しました。

市立作道小学校 六年 森田 里子  
『やさしい言葉の輪を広げよう』

射水市の小、中、高の児童生徒より募集した作品コンテストの表彰式が  
平成二十一年十月二十四日（土）午後一時より、アイザック小杉文化ホール  
（まどかホール）に於いて開催されました。

# 第五十九回『社会を明るくする運動』 作品コンテスト表彰式開催される

市立大門小学校 六年 山崎 晃平  
『行ってこられに送られて』  
市立小杉南中学校二年 野 亜紗乃  
『人の心をあたたかくする言葉』  
最後に米澤射水保護司会長のあいさ  
つがあり、作品コンテスト表彰式は無  
事終了しました。

新湊西部中・3年  
釣谷 匠平さん  
小杉南中・2年  
野 亜紗乃さん

森田 里佳子さん  
大門小・6年  
山崎 晃平さん

作道小・6年  
釣谷 匠平さん  
小杉南中・2年  
野 亜紗乃さん

この機関紙は一部共同募金の  
配分金を受けて作成しました。

作品コンテスト・優秀賞の皆さん  
は次とのおりです。

▽作文の部

小	小	中	下	金	作	▽	奈	東	作	放	生	津	小	射	小	奈	下	大	堀	
杉	中	伏	村	山	道	標語の部	古	明	道	生	津	小	杉	小	杉	古	村	門	作	岡
南	南	木	木	小	小		中	小	中	小	中	中	南	中	中	中	小	小	小	
中	中	中	中	小	小		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
一年	二年	一年	五年	六年	六年		一年	二年	六年	六年	六年	六年	一年	二年	二年	三年	五年	六年	六年	
片坂	橋	北	林	石	前		明	木	館	酒	川	金	三	水	野	前	新	高	山	
日本	川	寺	黒	田			又	本	東	谷	箇	箇	門	田	内	川	角	田	崎	
七	冬	結	ゆきの				美佐	早	由	利	惠	龍	哉	暉	希	英	紗	紫	皓	里佳子
夢	海	馬	貴	泉	葵		季	紀	利	恵		乃	希	春	太郎	千帆	帆	平	将	



## ▲ あいさつを述べる 米澤射水保護司会長



#### ▲ 会場につめかけた保護者・関係者



▲ 入賞作品展示

更生保護制度施行六十周年記念

全国大会に参加して（報告）

去る九月八日表記大会に参加してきました。法務大臣表彰をいただく御後、五十嵐、梅崎の三保護司、社団法人全國保護司連盟会長表彰を受ける島木、森保護司、市更女会副会長川口保護司の六人で参加してきました。

会場の東京国際フォーラムには受賞者、関係団体の代表など五千人が集い、天皇皇后両陛下の御臨席をいただき、午後一時開会となりました。

主催者、法務大臣、東京都知事の式辞の後、各賞がそれぞれの代表に渡され、受賞者代表が謝辞を述べられました。

天皇陛下のお言葉を拝聴の後、麻生内閣総理大臣、衆参両院議長、最高裁判所長官、日弁連会長の祝辞をいただき天皇皇后両陛下御退席の後、研究協議意見発表がありました。保護司局長のあいさつ、大会宣言、万歳三唱で午後三時閉会となりました。

本大会参加記念にいただいた「**主**」の字のバッヂは、保護大会五十周年を

更生保護制度施行六十周年を迎えて！

昭和二十四年七月「犯罪者予防更生法」の施行以来、更生保護制度は今  
年度をもって、六十周年を迎えました。

射水保護司会として様々な事業、行事に参加した中より、以下記事にまとめました。

記念して制作されたのですが、六十周年を迎えてこのマークを更生保護のシンボルマークとして広めていくことに

なりました。(ロゴマークについて参照)  
人は、互いに支え、支えられて「生き  
かされて生きている」保護司としてい  
かほどのことができたか反省するばかり  
りですが、皆様のお力添えを得て本日  
の式典に参加できたことを心より感謝  
しています。

有楽町駅前の会場のケヤキの樹木は  
早朝の雨に洗われ陽に照らされてつや  
やかな緑を天空に向けてすくっと伸び  
ていました。



▲ 東京国際フォーラムにて記念撮影



みな  
生かされ  
生きてゆく。

更生保護ネットワーク60周年

#### ◆ロゴマーク制作趣旨

甲骨文あるいは金文の「生」の文字をモチーフとしたものです。樹木の芽が伸びていくように、今を、そして未来を生きしていく様を表現したものです。

制作に当たっては、更生保護の精神を最も的確に表す言葉を探す作業から始め、そして最後にたどり着いた言葉が「生」の文字でした。「更生保護」の「生」の字であることは言うまでもありません。

このロゴマークに至るまでには様々なデザインが考案されましたが、更生保護の重みと生きる喜びを伝えるためには、数千年の時を経てな私たちに力強く訴え続ける「生」に勝るものはありませんでした。

#### ◆キヤツチコピー制作趣旨

更生保護は人の生き様にかかるること。それは、生きる苦悩と哀しみと無限の憂いを共にすることに他なりません。けれど、その果てによく、人によって「支え／支えられる」人間の喜びを発見します。

中京女子大学健康科学部健康スポーツ学科教授、栄 和人氏で（伊調千春、吉田沙保里選手の師）極限の精神状態

**第一十五回中部更生保護大会(報告)**  
広報部会 寺腰健一  
平成二十一年十二月二日(水)、名古屋国際会議場に於いてみだしの大会が開催されました。

この大会の趣旨は次の通りです。

近年、我が国の社会情勢は大きく変化し、これに伴って犯罪や非行の態様

も複雑、多様化の様相を示し、更生保護事業の更なる充実求める社会の期待は一層高まっている。（中略）

この時にあたり、中部六県の更生保護事業関係者が一堂に会し更生保護事業に対する社会の付託に応えて更に前進すべく決意も新たにし、士気の高揚を図るとともに、労働者の顕彰を行い、もって更生保護事業の充実と発展を期そうとするものでした。

射水保護司会からは、米澤会長以下、海内、高松、新中、炭谷、藍口、寺腰の各保護司が参加しました。

#### 日程

○開会／十時二十分  
・記念講演・昼食・休憩・顕彰式典  
○閉会／三時三十分

川村たかし名古屋市長が名古屋弁を交え、開会の辞、歓迎のあいさつを行い、会場はなごやかな雰囲気につづまれた。



**第四十四回富山県更生保護大会開催**  
更生保護制度施行六十周年を迎える十一月十七日(火)、富山市婦中ふれあい館を会場に富山県更生保護大会が開催されました。

射水市からは、平成二十一年度更生

保護関係の受章、受彰

の皆さんや、保護司、更

生保護女性会員が出席

し、開式に

続いて「人のこころ

音の心」と題

して毎年十

二月に「今年

を象徴する漢字」の揮毫

を務める清

水寺管主森清範師の講演があり、天皇陛下お言葉奉読、式辞、歓迎の言葉、挨拶、引き続き三百十名と二団体、一社の顕彰を行い十六時終了しました。

講演は「挫折からの復帰」と題して、三年にはよいよ射水市に当番が回ってきます。



射水での開催は平成九年アイザック小杉文化ホールに於いて六百六十名の動員を成した実績があり、期待も大き

く、会長、理事、過去の経験者を委員とした準備委員会を立ち上げ来年に向

けスタートしました。目下テーマ及び講演、人集めの方法など検討しながら

される予定ですが、何年に一度の大規模企画中で、近いうちに具体案が示された準備委員会を立ち上げ来年に向けスタートしました。目下テーマ及び講演、人集めの方法など検討しながら

わせ協力したいものです。

を如何に克服していったか、吉田沙保里選手

栄 和久氏と

沙保里選手も駆けつけ花を添えてくれました。



十二日(日)、富山県シンポジウム開催

去る、七月十二日(日)、富山県シン

ボジウム「更生保護と学校との連携」をテー

マにワイン

グ・ワイン

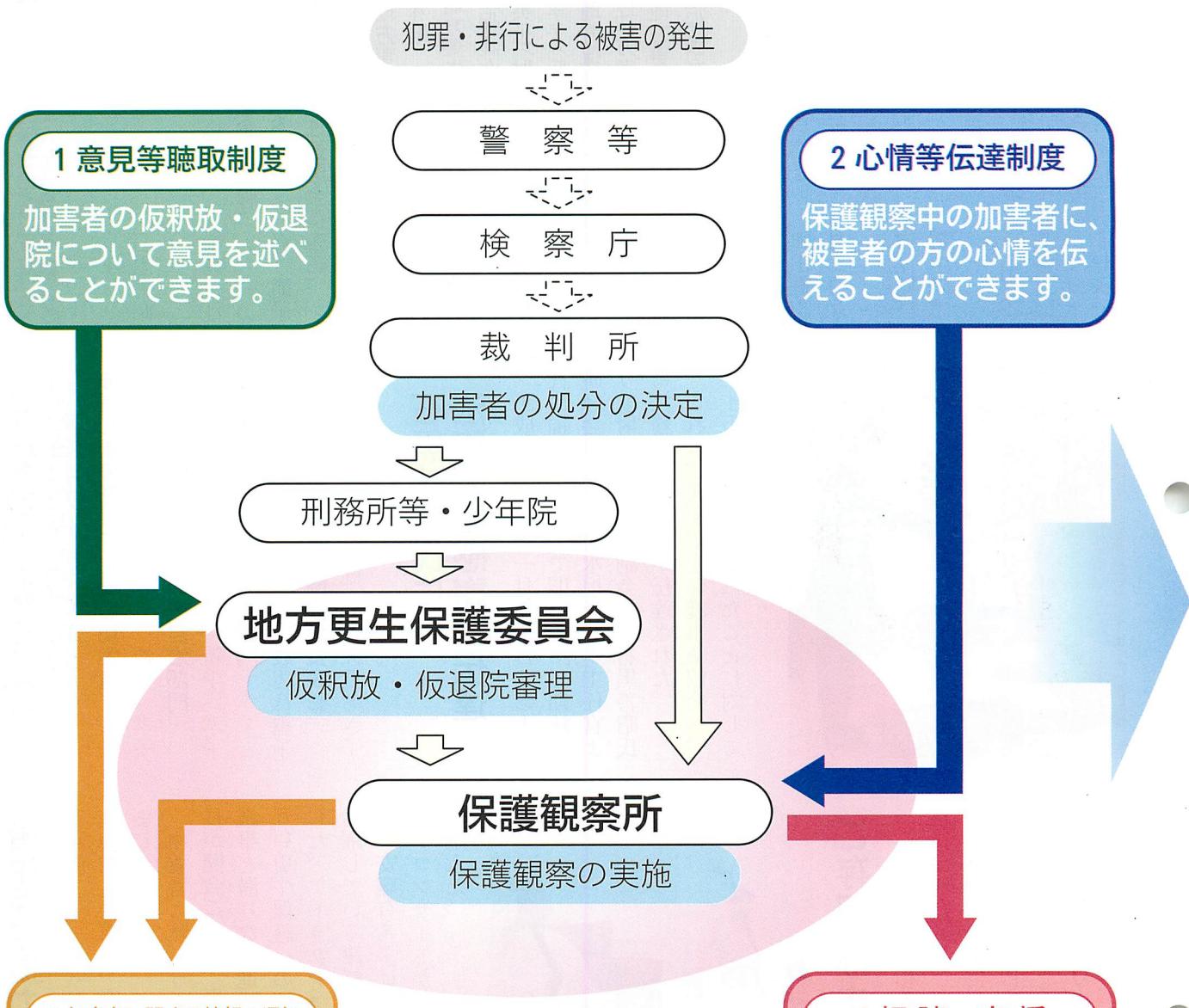
グ高岡を会

場に開催さ

れました。



## 更生保護における犯罪被害者等の方々のための制度



なぜ、乱用はいけないのか  
①脳を犯されて、心も身体もメチャクチャになる。  
②自分の意思では止められなくなってしまう。これらの薬物は、依存性と幻覚が現れる精神毒性があり、各種の法律で厳しく規制されています。

**乱用され危険のある主な薬物**  
 ●覚せい剤 (ヘロインなど)  
 ●大麻  
 ●あへん系麻薬 (DMMDA)  
 ●幻覚性きのこ (いわゆるマジックマッシュルーム)  
 ●違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ)  
 ●有機溶剤 (シンナーなど)

**薬物乱用の背景**  
 薬物乱用者の多くは、ほんのちょっとした好奇心から安易に使い始めていますが、その背景には：  
 ①薬物による弊害の恐ろしさが十分に理解されていないこと。  
 ②薬物は精神依存性が強いため、ひとたび乱用を始めると自分ではなかなかやめられなくなってしまうこと。  
 ③薬物の取引による利益を資金源としている暴力団や外国人密売組織等が言葉たくみに勧め、大量に供給していること。

## 平成二十一年度受彰者紹介

今年度各方面で活躍を認められ  
受彰された保護司の紹介

- 叙勲 瑞宝双光章(春) 石黒善昭
- 法務大臣表彰 御後一夫 五十嵐繁久 梅崎一江
- 全国保護司連盟会長表彰 島木嘉子 森 節子
- 日本更生保護女性連盟会長表彰 (更生保護女性会員) 棚元静江(射水)
- 中部地方更生保護委員会委員長表彰 北村外雄 南 英子 山本 修
- 中部地方更生保護委員会委員長感謝状 (更生保護女性会員) 三田英子(射水) 川口和香子(射水) 新中孝子(新湊)
- 中部地方保護司連盟会長表彰 (内助功労者) 米澤良子
- 中部地方更生保護女性連盟会長表彰 (更生保護女性会員) 清原外茂子(射水)
- 富山保護観察所長表彰 境 文夫 藍口信子 津田健志 塚本秀樹 高松 徹 林 弥生
- 富山保護観察所長感謝状 南 英子 前野昭次 真岸勝彦 新中隆志
- 富山保護女性会員 (更生保護女性会員) 西野慶子(射水) 松井光子(射水) 穴田信子(新湊) 金子直美(新湊)
- 富山保護司会連合会長表彰 旭 邦彦 山口花子



### 石黒善昭氏に 法務大臣感謝状伝達

平成二十一年十一月二十日(金)大島社会福祉センターで開催の第三期統一研修会の席上、射水担当北本主任官より前射水保護司会副会長、石黒善昭氏に法務大臣感謝状が伝達された。

これは、氏が更生保護事業協会へ、二十万円の寄付をされたことに対しても贈られたものである。



▲ 熱演！中山・安藤三味線デュオ

## 更生保護協力会総会開催

平成二十一年八月十一日(火)新湊交流会館二階ホールに於いて開催されました。物故者に黙とうを捧げた後、射水市長が開会ことば、来賓紹介、議長選出、議事と滞りなく進行し、企業、個人お互い更生保護への協力を確認し、終了した。アトラクションとして、富山で活躍している津軽三味線奏者、中山孝志、安藤有希子によるトークとミニライブコンサートがあり、この総会に華を添えた。

## 専門部会だより

### 総務部会

平成二十三年富山県シンポジウムの当番が当射水市に回って来ます。

『富山県シンポジウム in 射水』です。詳細にわたり準備、検討を進めて行

くため、理事を中心準備委員会を立ち上げました。

この催しが成功するよう邁進するべくご協力下さい。

### 研修部会

9月30日 自主研修

講話 射水署 田村恵子氏  
11月20日 第三期 定例研修

1月26日 第四期 定例研修  
2月3日 自主研修

講話 清源寺 川越恒豊氏  
2月3日～4日 一泊研修 (呉羽ハイツ)

### ●自主研修より

平成二十一年九月三十日(水)小杉社会福祉会館において、研修部会の企画による自主研修が開催されました。

講師は、射水警察署、生活安全課少年補導員、田村恵子氏で、実際の仕事を通じて、今どきの青少年の実態など実りある研修となりました。

以前は外見で、それと分かったことが今は、みんな同じ服装で分かりづらい。そんな何処にでも居そうな青少年

が万引きや深夜徘徊など（午後十一時～深夜三時頃）で補導される。

また、携帯電話等の使用も心配であり、出会い系サイトの被害者は、年間一二二〇〇人～一・三〇〇人に及んでいます。「子ども達がおかしい?」「おかしいのは親?」等々、事例を挙げての講話で保護司が地域で何でも相談出来る立場であつて欲しいと結んでの意義ある時間でした。



## 広報部会

11月20日 八号 編集計画配布  
1月末 八号 発行  
富山県保護司会連合会では、「更生保護制度施行六〇周年」記念誌を発行することになり、各地区保護司会のあゆみの紹介ページとして次のような内容で原稿依頼がありました。

「あの時、本気で叱ってくれたから今の自分があります。」声掛けの必要性、出会いがあり、一人では立ち直れないよ、ホットな地域環境が求められていると思います。

根本は、家庭で家庭がホットであれば地域もホット、勤め先もホットになると：

不況で大変厳しい不安な環境です。雇用主の方々の前向きな姿勢を感じ会を開じる事が出来ました。

ありがとうございました。(新中記)

- 1、地域と沿革
- 2、歴代会長
- 3、組織・運営
- 4、活動（研修・社明運動など）

※平成二十一年十二月発行予定

## 協力組織部会

平成二十一年十二月十日(木)新湊交流会館二階ホールに於いて射水市更生保護協力雇用主会の方々と協力組織部会の会合を開催しました。

富山保護観察所から北本主任官に参加していただき、射水市の現状を聞く機会を得ました。

成人九名、少年十名の対象者がいる。有職者で、建設作業員や、サービス業で安定しているとの報告がありました。

就労支援、再犯防止、安心安全な地域づくり、私達の住んでいる、住ませていただいている場所は自分達で守り育てる事が当然です。

「あの時、本気で叱ってくれたから今の自分があります。」声掛けの必要性、出会いがあり、一人では立ち直れないよ、ホットな地域環境が求められていると思います。

10月9日 16日 24日  
11月20日 1月末  
八号 八号

編集計画配布  
発行  
射水更生保護制度施行六〇周年記念誌を発行することになり、各地区保護司会のあゆみの紹介ページとして次のような内容で原稿依頼がありました。

## 地域活動部会

更生保護女性会及び、BBS会の協力の下に海の日(七月二十日)に小杉パークに於いて街頭広報活動を行いました。

なお、二十二年二月十七日(水)に小杉社会福祉会館にて更生保護女性会主催の会合で、「保護司活動からみた非行犯罪の源」のテーマで講演します。

(三宅記)

## 学校部会

7月31日 各学校社明作品集め

※小学校長会の要望による

新湊地区・北村  
射水地区・炭谷

8月3日 第一回審査

13時半～15時半 小杉福祉会館  
〔標語・ポスター部門〕

第二回審査

10時～15時 「作文部門」

清書作文回収

作道小学校・南部中学校 北村  
大門小学校 炭谷

作品コンテスト優秀作品  
パネル板展示 新湊庁舎玄関  
北村、高松、黒梅主事

10月9日

小杉庁舎へ移動展示  
社明コンテスト授賞式  
ラボール14時～15時半  
進行／山口保護司  
開会／分家実施委員長

11月13日

閉会／米澤会長  
中学校生活体験発表の  
DVD配布  
新湊地区・北村  
射水地区・炭谷

## ひと口メモ



## ご存知ですか？ 更生保護女性会の活動を

地域に根ざした女性のボランティア団体です。犯罪や非行をした人たちの立ち直りを保護司の皆様と一緒に「ミニ集会」や「子育て支援地域活動」などを通して、明るい社会の建設に努めています。安心・安全に暮らせるためにも『ほっとけない』の気持ちを持って多くの人に更生保護の心を広める架け橋になりたいと願いつつ、常に『いつくしむ』心を大切にしています。（射水市更生保護女性会会員は400名です）

## ◇ 事務局日誌この一年 ◇

平成21年(前期)

4月3日 第1回理事会

(協議事項総会)

5月12日 平成21年度

射水保護司会定期総会

第一期地域別定例研修会

第2回理事会

(協議事項 諸行事、叙勲)

第59回社明運動・

県推進委員会

射水市中学生生活

体験発表大会

6月2日 代表者会議

地域活動・広報部会

9月3日 地域活動部会協議会

9月23日 第59回社明運動・

射水市実施委員会

第1回総務部会

6月27日 石黒善昭氏の

叙勲受章を祝う会

7月1日 法務大臣・

知事メッセージ伝達

青少年育成射水市民会

議総会 梅崎、五十嵐

第47回県中学生

生活体験発表大会

5月6・26 キャンペーン

第59回社明運動・

富山県シンボジウム

街頭宣伝広報活動

4月20日

平成21年(後期)

8月6日

富山県薬物乱用防止指

導員 高岡地区協議会

総会

平成21年度射水市更生

保護協力会定期総会

第2回理事会

(協議事項 新任保護司推薦)

更生保護制度施行60周年

記念全国大会

(当会から5名参加)

保護司第二次研修

自主研修会

(講話 射水警察署 田村憲子氏)

射水保護司会保護司候

補者検討協議会

射水市社会福祉大会

定期駐在

保護司会第一次研修

社会を明るくする運動

作品コンテスト表彰式

保護司会代表者協議会

(会長) 富山県薬物乱用防止指

導員大会

11月12日 第44回富山県更生保護大会

(当会から21名参加)

第3期地域別定例研修会

更生保護制度施行60周年

記念中部地方更生保護大会(当会から6名参加)

7月21日

定期駐在

(後期)

定期駐在

導員 高岡地区協議会

総会

平成21年度射水市更生

保護協力会定期総会

第2回理事会

(協議事項 新任保護司推薦)

更生保護制度施行60周年

記念全国大会

(当会から5名参加)

保護司第二次研修

自主研修会

(講話 射水警察署 田村憲子氏)

射水保護司会保護司候

補者検討協議会

射水市社会福祉大会

定期駐在

保護司会第一次研修

社会を明るくする運動

作品コンテスト表彰式

保護司会代表者協議会

(会長) 富山県薬物乱用防止指

導員大会

10月5日

11月12日

24日

28日

30日

7月22日

定期駐在

(後期)

定期駐在

導員 高岡地区協議会

総会

平成21年度射水市更生

保護協力会定期総会

第2回理事会

(協議事項 新任保護司推薦)

更生保護制度施行60周年

記念全国大会

(当会から5名参加)

保護司第二次研修

自主研修会

(講話 射水警察署 田村憲子氏)

射水保護司会保護司候

補者検討協議会

射水市社会福祉大会

定期駐在

保護司会第一次研修

社会を明るくする運動

作品コンテスト表彰式

保護司会代表者協議会

(会長) 富山県薬物乱用防止指

導員大会

10月22日

11月12日

24日

28日

30日

12月3日

定期駐在

(後期)

定期駐在

導員 高岡地区協議会

総会

平成22年

定期駐在

導員 高岡地区協議会

総会

定期駐在

導員 高岡地区協議会

総会

定期駐在

導員 大門地区協議会

総会

定期駐在

導員 大門地区協議会

定期駐在

定期駐在

定期駐在

定期駐在

定期駐在

## 支援・共催団体紹介

- ◇ 小杉ライオンズクラブ
- ◇ 新湊ライオンズクラブ
- ◇ 大門ライオンズクラブ
- ◇ 新湊ロータリークラブ
- ◇ 新湊中央ロータリークラブ

## 保護司の異動

○退任保護司

(平成二十一年十一月二十日付)

森 節子

室田 清一

森田 ひとみ

(平成二十一年十一月二十日付)

本江 重吉

大庭 勝也

高橋 伸也

(平成二十一年十一月二十日付)

大庭 勝也

- ◇ 小杉ロータリークラブ
- ◇ 社会福祉法人富山県共同募金会
- ◇ 射水市善意銀行
- ◇ 中学生生活体験発表大会経費
- ◇ 「社会を明るくする運動」啓発資料購入代
- ◇ ご支援、ご協力ありがとうございました。



くお礼を申し上げます。(寺腰記)

八号の編集に取り掛かろうと作業を始めましたが、思わずアクシデントに見舞われてしましました。今年度の各種行事等の記録(写真データ)を誤って初期化してしまい、あれこれ試みたのですが解決にはつながらず途方に暮れながらも射水ケーブルTVからの記録DVDの提供など、次善策を検討しているうち、同じ広報部会に、その道の専門家が存在すること、結果的に、見事データが復活し、お陰でやっと今号の発刊に漕ぎ切れた次第です。

おまつを反省すると同時に、厚くお礼を申し上げます。(寺腰記)